学校番号	1202

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）チャレンジ情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本情報処理検定協会　情報処理技能検定試験　表計算模擬問題集３・４級編 日本情報処理検定協会　情報処理技能検定試験　表計算模擬問題集２・準２級編						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本情報処理検定協会主催　情報処理技能検定の内容を通して、社会における実践的表計算ソフトの利用についての見識を高めかつ技能を身につける

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
３級レベルの課題内容に対応できる技能・工夫ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
２級レベルの課題内容に対応できる技能・工夫ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に表計算ソフトを用いた課題への取り組む力を身につけている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	表計算ソフト（マイクロソフトエクセル、Google スプレッドシート）の利用について、基礎知識を身につける	印刷時のレイアウト、グラフの利用等の見栄えの良さを工夫する 目標時間内に課題を完成させる工夫を問う	目標時間内に課題を完成させる 自らの力で、課題に取り組む

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	３・４級	３・４級の範囲の課題演習	ａ：入力、フォーマットについて理解している ｂ：関数の利用について理解している ｃ：課題の実施数の基準を満たそうとしている	課題	課題	授業観察 課題実施数

2学期	2・準2級	2・準2級の範囲の課題演習	a：入力、フォーマットについて理解している b：関数の利用について適切に判断し、選択できる c：課題の実施数の基準を満たそうとしている	課題	課題	授業観察 課題実施数
3学期	応用	自らのレベルを考えた課題演習	a：入力、フォーマットについて理解している b：関数の利用について適切に判断し、選択できる c：課題の実施数の基準を満たそうとしている	課題	課題	授業観察 課題実施数

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度